FUJIFILM

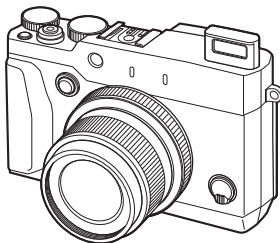
BL04800-100 JA

DIGITAL CAMERA

X30

使用説明書（基本操作編）

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

X30 スペシャルサイト：
http://fujifilm-x.com/x30/

本製品のさらに詳しい内容については、オンラインマニュアルを併せてご覧ください。

http://fujifilm-dsc.com/manuals/

HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

カメラをお使いになる前に

次の手順にしたがって
準備してください

1

箱の中の付属品が
すべてそろっているかを
確認してください（右記）。

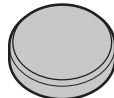
2

カメラを安全に使用されるために、
「お取り扱いにご注意ください」
をお読みください。

3

本書をよくお読みの上、
カメラをお使いください。

■ 付属品一覧

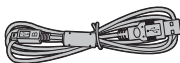
- 充電式バッテリー NP-95（1 個）

- レンズキャップ（1 式）
- AC パワーアダプター AC-5VT（1 個）

- ストラップリング取り付け補助具（1 個）

- プラグアダプター（1 個）
  仕向け国によって形状が異なります。

- ストラップリング（2 個）

- 専用 USB ケーブル（1 本）

- ストラップリングカバー（2 枚）
- ショルダーストラップ（1 本）
- 使用説明書（本書）
- 保証書（1 部）

本書について

本書で使われている記号について

ⓘ：カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。

🏷：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

使用可能なメモリーカードについて

このカメラでは、市販の SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。

お手入れについて

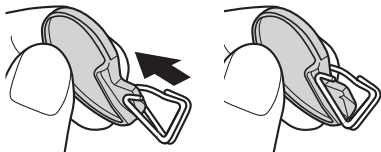
長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のようなお手入れすることをおすすめします。

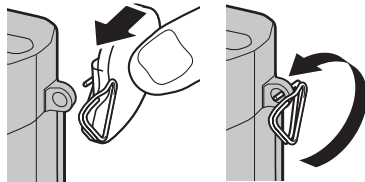
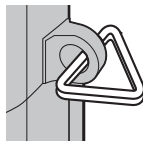
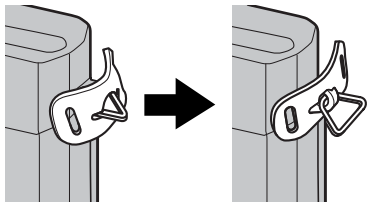
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。特にカメラ本体の革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 液晶モニター表面などの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。

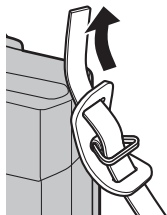
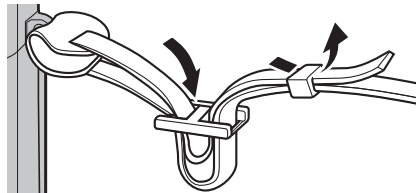
目次

ストラップを取り付ける

カメラにストラップを取り付ける前に、ストラップリングをカメラに取り付けます。

1 ストラップリング取り付け補助具およびストラップリングの向きに注意して、図のようにストラップリングの切りこみを広げます。

ⓘ ストラップリング取り付け補助具は、カメラからストラップリングを取り外すときも使用しますので、大切に保管してください。

2 ストラップリングの切り込みを、ストラップ取り付け部に引っ掛けます。手を添えながら、ストラップリング取り付け補助具を抜き取ります。

3 ストラップリングを回転させ、カチッと音がするまで完全に通します。

4 ストラップリングカバーの黒い面をカメラに向け、切り欠き部分からストラップリングを通して、カメラに取り付けます。

反対側も同様に、手順 1 ～ 4 を繰り返して取り付けます。

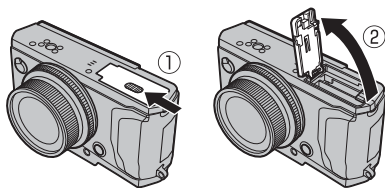
5 ストラップをストラップリングカバーとストラップリングに通します。

6 ストラップを止め具に通します。

反対側も同様に、手順 5 ～ 6 を繰り返して取り付けます。

① ストラップの取り付けかたを間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。

バッテリーとメモリーカードを入れる

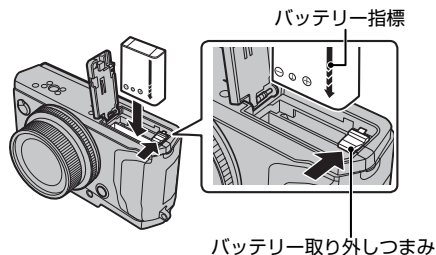
カメラにバッテリーとメモリーカードを入れます。

1 バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開けます。

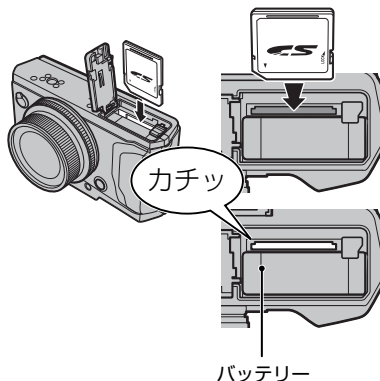
- ⓘ カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- ⓘ バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。

2 バッテリーを入れます。

図のように金色の端子を下にして、バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。

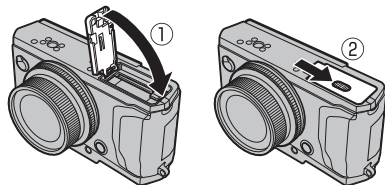
- ⓘ バッテリーの向きを間違えるとカメラが破損するおそれがありますので、指標（矢印）の位置がカメラ内部のイラストと合うように確認して、正しい向きで挿入してください。
- ⓘ バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。

撮影の準備

3 メモリーカードを入れます。

図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。

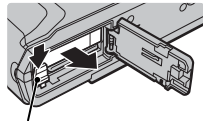
⚠ メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。メモリーカードが正しく入っていないと、撮影された画像は内蔵メモリー（IN と画面に表示されます）に記録されます。

4 バッテリーカバーを閉めます。

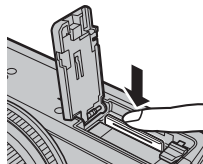
バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを閉めてください。

⚠ バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。

バッテリー / メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開けます。

- **バッテリーを取り外す**

  バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。

- **メモリーカードを取り外す**

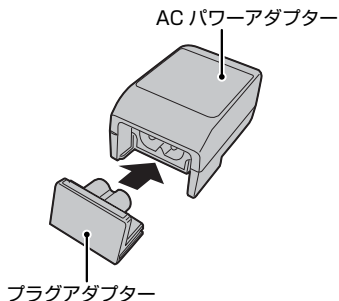
  メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を戻すと、ロックが外れて取り出せます。

⚠ 押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

バッテリーを充電する

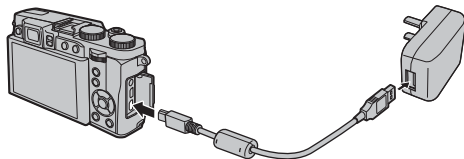
ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください。

- **お客様がお使いのバッテリーは NP-95 です。**
- **充電時間は、約 4 時間半です。**

1 AC パワーアダプターにプラグアダプターを取り付けます。

図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、プラグアダプターを確実に奥まで差し込みます。

ⓘ 付属のプラグアダプターは、AC パワーアダプター AC-5VT 専用です。この組み合わせ以外では使用しないでください。

2 バッテリーを充電します。

カメラと AC パワーアダプターを同梱の USB ケーブルで接続します。AC パワーアダプターを屋内の電源コンセントに差し込みます。

ⓘ USB ケーブルは向きに注意して、端子の奥までしっかりと差し込んでください。

充電状態の表示

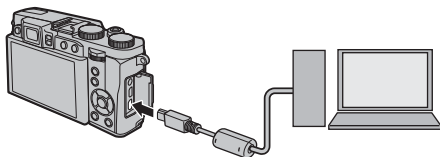
カメラの電源をオンにしているときは画面のアイコンで、オフにしているときはインジケータランプでバッテリーの充電状態を示します。

電源オン時のアイコン	電源オフ時のインジケータランプ	バッテリーの状態
（黄点灯）	点灯	充電中
（緑点灯）	消灯	充電完了
（赤点灯）	点滅	バッテリー異常
アイコンなし	―	外部電源モードで動作中

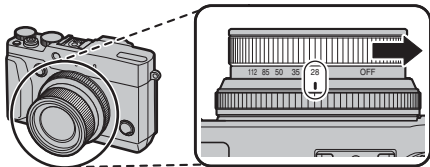
カメラにバッテリーを入れた状態で AC 電源を接続しカメラをオンにすると、外部電源モードで動作します。

- 撮影モードのときは充電できません。
- 同梱されている AC パワーアダプターは電源電圧（100-240V）、電源周波数（50/60Hz）の地域で使用できます。ただし、地域により電源コンセント形状が異なりますので必要に応じ、あらかじめ最適な変換プラグアダプターの安全性をお確かめの上ご用意ください。詳しくは旅行代理店などにご相談ください。
- 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」を参照してください。
- 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ～ 2 日前）には、バッテリーを充電してください。
- 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- AC パワーアダプターを使用しないときは、コンセントから AC パワーアダプターを抜いてください。
- 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- 低温時および高温時は充電時間が長くなることがあります。

パソコンに接続してバッテリーを充電する

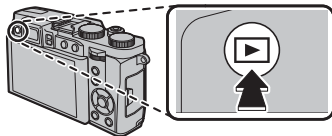
パソコンに接続して、バッテリーを充電することもできます。付属の USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続してください。

- USB ハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、パソコンの休止状態（スリープ状態）を解除したあと、USB ケーブルを接続しなおしてください。
- パソコンの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。

電源をオンにする / オフにする

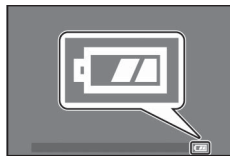
ズームリングを図の位置まで回すと、電源がオンになります。OFF に合わせると、電源がオフになります。

- 撮影中に ▶（再生）ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
- 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。セットアップメニューの **消費電力設定**＞**自動電源 OFF** では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。電源を入れ直すには、いったんズームリングを OFF に合わせ、再度電源をオンにします。

① レンズやファインダーに指紋が付かないようにご注意ください。ファインダーがクリアに見えない、または撮影画像の画質低下の原因になります。

再生モードで電源をオンにするには

▶（再生）ボタンを長押しすると、再生モードで電源がオンになります。

再生中に ▶（再生）ボタンを押すと電源がオフになります。

① 再生モードで電源をオンにした場合は、シャッターボタンを押しても撮影モードになりません。

バッテリー残量の表示

画面の表示で、バッテリー残量を確認できます。

表示	意味
[バッテリー3目盛]	バッテリーの残量は十分にあります。
[バッテリー2目盛]	バッテリーの残量は約 ⅔ です。
[バッテリー1目盛]	バッテリーの残量は約 ⅓ です。できるだけ早く充電してください。
[バッテリー1目盛]（赤点灯）	バッテリー残量がありません。バッテリーを充電してください。

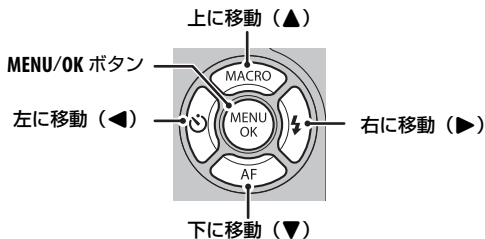
撮影の準備

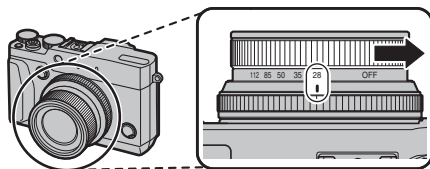
初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語と日時が設定されていません。次の手順で使用する言語や日時などの初期設定を行います。

- 言語や日時の設定をやり直したい場合は、セットアップメニューで、**日時設定**または **言語/LANG.** を選んだあとに、以下の手順で設定できます。

操作ボタンについて

この使用説明書では、操作するボタンを ▲▼◀▶ で表しています。

1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。

2 ▲▼ で使用する言語を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

3 ▲▼ で年月日の並び順を設定します。

4 **年、月、日、時、分を設定します。**

◀▶ で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、▲▼ で設定する数字を選びます。

5 **MENU/OK ボタンを押します。**

日時が設定され、パフォーマンス設定画面が表示されます。

6 **パフォーマンス設定を選びます。**

- **節電**：消費電力を抑えるため、バッテリーを長持ちさせられます。
- **ハイパフォーマンス**：ピント合わせが速くなり、液晶モニターが明るくなめらかになります。

7 **MENU/OK ボタンを押します。**

設定が終了して、撮影を開始できます。

◆ バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

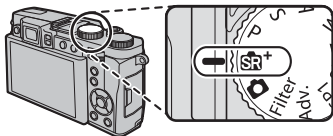
設定のスキップ

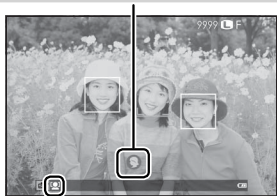
DISP/BACK ボタンを押して、設定をスキップできます。スキップした設定は、次にカメラを起動したときに、再度、設定画面が表示されます。

撮影と再生

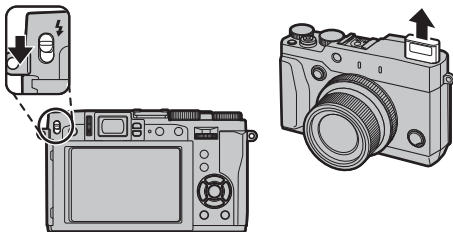
静止画を撮影する

ここでは、アドバンスト SR オート（SR+）撮影の基本的な流れを説明します。

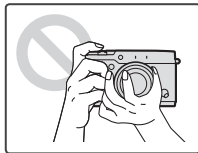
1 モードダイヤルを SR+（アドバンスト SR オート）に合わせます。

アドバンスト SR オートの撮影画面が表示されます。

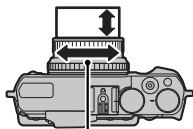
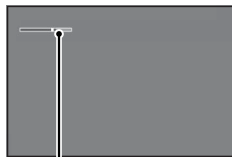
> **シーンアイコン**
> カメラが認識した最適なシーンのシーンアイコンが表示されます。

> **[人物] アイコン**
> カメラが最適なシーンを認識するため、人物を常に検出し続けることを表すアイコンです。

! アドバンスト SR オート（SR+）で撮影するときは、常にピント合わせを続けるためレンズの駆動音がします。また、バッテリーの消耗が早くなりますので、残量にご注意ください。

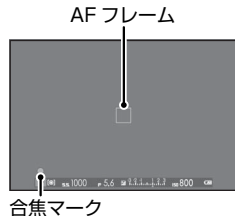
> **フラッシュについて**
> 暗い場所ではフラッシュを使って撮影できます。フラッシュポップアップスイッチをスライドすると、フラッシュがポップアップします。

2 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。

- レンズやフラッシュに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。

3 構図を決めます。

ズームリングを回して、構図を調整します。広い範囲を写したいときは左方向、被写体を大きく写したいときは右方向に、ズームリングを回してください。ズーム操作中は、画面にズームバーが表示されます。

4 被写体を中央にしてシャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。

ピントが合ったとき

- ピピッと音が鳴り、AF フレームが緑色に点灯します。
- 合焦マークが緑色に点灯します。

ピントが合わないとき

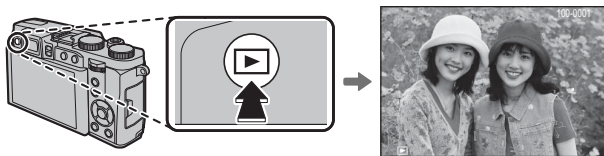
- AF フレームが赤色に変わり、**!AF** が画面に表示されます。
- 合焦マークが白色に点滅します。

- シャッターボタンを半押しすると、レンズ動作音が発生します。
- 暗い被写体のピントを合わせやすくするために AF 補助光が発光する場合があります。AF 補助光は発光しないように設定を変更できます。
- シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。

5 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。

静止画を再生する

1 コマ再生

▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示（1 コマ再生）されます。

1 つ前の画像を見るには ◀ を押します。次の画像を見るには ▶ を押します。ボタンを押し続けると、早送りします 。

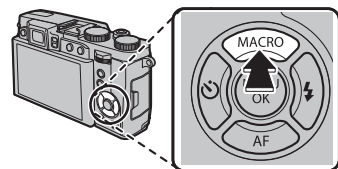
- コマンドダイヤルを回しても前後の画像を表示できます。
- 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに 🎁（プレゼントアイコン）が表示されます。

★ お気に入りを設定する

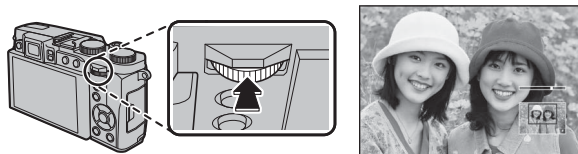
1 コマ再生時に **DISP/BACK** ボタンを押すと、**★ お気に入り**のランクが表示され、ランクを設定できます。▲ または ▼ で ★ の数（0 ～ 5）を設定します。

撮影と再生

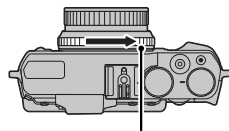
撮影時の情報確認

1 コマ再生時に撮影時の情報を確認できます。▲ を押すごとに、表示が切り換わります。

✎ コマンドダイヤルを回すか、◀▶ を押すと、前後の画像に切り換えることができます。

ピントの位置を拡大表示する

コマンドダイヤルの中央を押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。もう一度押すと、1 コマ再生に戻ります。

再生ズーム

1 コマ再生時にコントロールリングを右に回すと、画像を拡大表示できます。再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押します。

- 1 コマ再生画面でコントロールリングを左に回すと、「マルチ再生」の 9 コマ再生画面になります。

- 最大ズーム倍率は、設定した撮影メニューの **画像サイズ**によって変わります。
- 再生メニューの **リサイズ**または **トリミング**の 640 で保存された画像は、再生ズームは使えません。

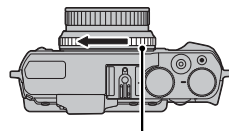
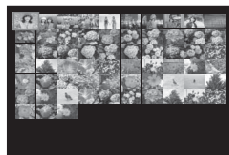
ナビゲーションについて

ナビゲーションで現在の表示位置がわかります。

拡大表示中に ▲▼◀▶ で、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。

マルチ再生

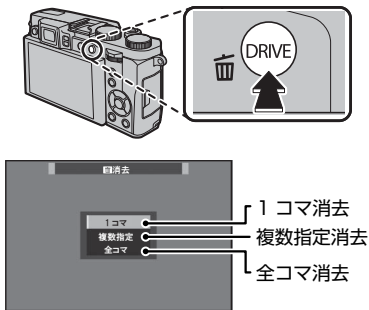
1 コマ再生時にコントロールリングを左に回すと、9 コマ、100 コマ（マイクロサムネイル）の一覧を表示できます。

◆ 1 コマ再生画面でコントロールリングを右に回すと拡大画像が表示されます。

コントロールリングを左に回すたびに表示される画像が増えます。

コントロールリングを右に回すたびに表示される画像が減ります。

- ▲▼◀▶ で画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を 1 コマ表示できます。
- ▲ または ▼ でページを切り換えることもできます。

画像を消去する

画像を 1 コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。**誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。**

1 コマ再生時に 🗑 ボタンを押して、消去方法を選びます。

- プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください。
- 再生メニューの 🗑 **消去**でも、画像を消去できます。

1 コマ消去

画像を 1 コマだけ消去します。

1. 1 コマ再生中に 🗑 ボタンを押して、**1 コマ**を選びます。
2. 消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

- **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- **MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

複数指定消去

☑ が表示されている画像をまとめて消去できます。

✎ プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、❗ が表示されます。

1 1 コマ再生中に 🗑 ボタンを押して、**複数指定**を選びます。

2 消去する画像を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、選択されます。

- 選択された画像は ☑ が表示されます。
- もう一度、**MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

3 まとめて消去する画像を選択指定した後、**DISP/BACK** ボタンを押します。

消去実行画面が表示されます。

4 **実行**を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。

全コマ消去

画像がすべて消去されます。

1 1 コマ再生中に 🗑 ボタンを押して、**全コマ**を選びます。

2 **実行**を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。

⚠ メモリーカードがカメラに入っているときは、メモリーカード内の画像がすべて消去され、メモリーカードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像がすべて消去されます。

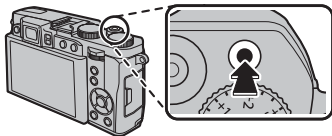
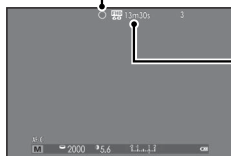
⚠ **DISP/BACK** ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。

✎ プリント予約を設定している画像を消去しようとすると、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。

動画を撮影 / 再生する

ハイビジョン動画を撮影する

音声付きの動画を撮影できます。

1 動画撮影ボタンを押すと、動画撮影が開始されます。

撮影中は、◉ が表示されます。

動画撮影の残り時間（カウントダウン）が表示されます。

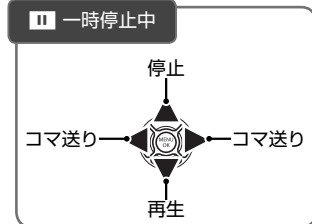
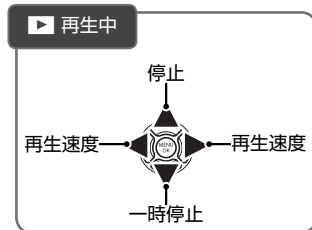
2 もう一度動画撮影ボタンを押すと、撮影が終了します。

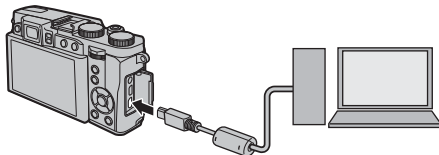
残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

① 動画の記録中は背面のインジケーターランプが点灯します。

動画を再生する

画像の再生時に動画を選択すると、🎞 が表示されます。

■ 動画再生時の操作方法について

カメラをパソコンに接続して画像を転送する

付属の USB ケーブルでカメラとパソコンを接続して、画像をパソコンに転送できます。

① USB ケーブルは、向きに気をつけて接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。

Windows をお使いの方

- MyFinePix Studio を使ってもカメラと接続したパソコンに画像を転送できます。また、MyFinePix Studio を使うと画像の閲覧、管理、印刷などをパソコン上で行うことができます。MyFinePix Studio は以下のサイトからダウンロードできます。

  http://fujifilm-dsc.com/mfs/

- RAW 画像をパソコン上で現像したいときは、RAW FILE CONVERTER を使用します。RAW FILE CONVERTER は以下のサイトからダウンロードできます。

  http://fujifilm-dsc.com/rfc/

Mac OS をお使いの方

RAW 画像をパソコン上で現像したいときは、RAW FILE CONVERTER を使用します。RAW FILE CONVERTER は以下のサイトからダウンロードできます。

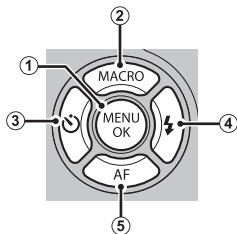
http://fujifilm-dsc.com/rfc/

各部の名称

① コントロールリング設定ボタン
② シャッターボタン
③ 動画撮影ボタン（ファンクション 1）
④ 露出補正ダイヤル
⑤ モードダイヤル
⑥ AF 補助光ランプ
セルフタイマーランプ
⑦ ホットシュー
⑧ マイク（L/R）
⑨ フラッシュ
⑩ ストラップ取り付け部
⑪ フォーカスモード切り換えレバー
⑫ コントロールリング
⑬ ズームリング
電源スイッチ
⑭ レンズ
⑮ 液晶モニター（LCD）
⑯ ファインダー（EVF）
⑰ 端子カバー
⑱ DC カプラーカバー
⑲ バッテリーカバー
⑳ バッテリーカバーロック
㉑ スピーカー
㉒ 三脚用ねじ穴
㉓ マイク / リモートレリーズ端子
㉔ マイクロ HDMI 端子*
㉕ マイクロ USB 端子
㉖ バッテリー取り外しつまみ
㉗ バッテリー挿入部
㉘ メモリーカードスロット
㉙ ϟ（フラッシュポップアップ）スイッチ
㉚ ▶（再生）ボタン
㉛ 視度調節ダイヤル
㉜ アイセンサー
㉝ インジケーターランプ
㉞ **VIEW MODE** ボタン
㉟ **DRIVE** ボタン
🗑（消去）ボタン（再生時）
㊱ コマンドダイヤル
㊲ **AEL/AFL**（AE ロック /AF ロック）ボタン
㊳ **Q** ボタン
RAW 現像（再生時）
㊴ セレクターボタン（▲、▼、◀、▶、**MENU/OK**）/ ファンクションボタン
㊵ **Fn** ボタン（ファンクション 6）
Wi-Fi ボタン（再生時）
㊶ **DISP/BACK**（表示 / 戻る）ボタン

***** HDMI ケーブルは、長さが 1.5 m 以内のものをご使用ください。

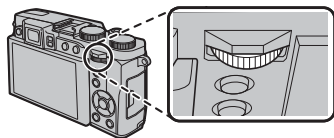
セレクターボタン

▲▼◀▶（上下左右）ボタンを押して項目を選択したり、機能を使用したりできます。

① **MENU**（メニュー）/**OK** ボタン
② **上に移動（▲）**、**MACRO**（マクロ）、ファンクション 2 ボタン
③ **左に移動（◀）**、（セルフタイマー）、ファンクション 3 ボタン
④ **右に移動（▶）**、（フラッシュ）、ファンクション 4 ボタン
⑤ **下に移動（▼）**、**AF** ボタン、ファンクション 5 ボタン

モードダイヤル

モードダイヤルで撮影モードを切り換えることができます。

モードアイコン	撮影モード
SR+	**アドバンスト SR オート**：カメラが撮影シーンに合わせて、自動で最適な撮影モードを設定して撮影できます。
（カメラ）	**オート**：カメラまかせの簡単操作できれいな写真が撮影できます。
P	プログラムシフトができるオートモードです。
S	シャッタースピードや絞り値を自分で設定して撮影できます。
A	
M	
Filter	**アドバンストフィルター**：さまざまなフィルター効果を加えた写真が撮影できます。
Adv.	**アドバンストモード**：高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます。
SP1/SP2	**シーンポジション**：いろいろな撮影シーンに合わせて、カメラの設定を最適な状態にするシーンポジションを選択できます。
（パノラマ）	**ぐるっとパノラマ 360**：カメラを動かして撮影した複数の画像を自動で合成し、1 枚のパノラマ写真を作成します。

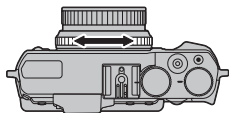
コマンドダイヤル

コマンドダイヤルは、メニューなどの選択の他に以下のような機能にも使えます。

- 再生時に前後の画像を表示
- クイックメニューの設定値変更

また、コマンドダイヤルの中央を押すと、以下のような機能が使えます。

- 拡大してピントを確認
- 再生時にピントを合わせた位置を拡大表示

コントロールリング

撮影中にコントロールリングを回すと、割り当てられている機能の設定を簡単に変更できます。コントロールリング設定ボタンで、以下のいずれかの機能を割り当てます。

- スタンダード
- 感度
- ホワイトバランス
- フィルムシミュレーション
- 連写

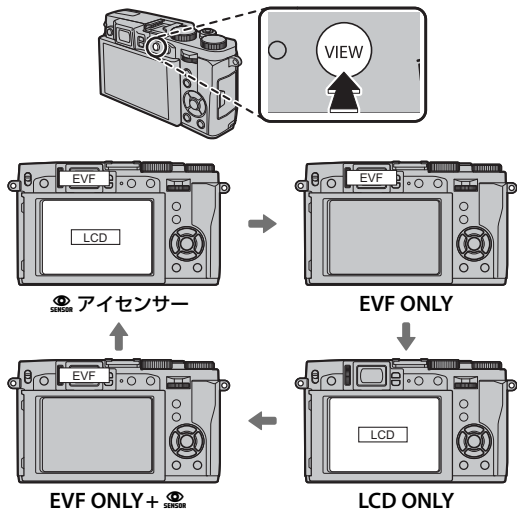
スタンダードについて

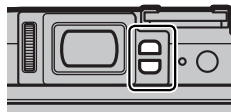
スタンダードを割り当てると、カメラがモードに応じた機能を自動で割り当てます。

撮影モード	割り当てられる機能
SR+	フィルムシミュレーション
(カメラアイコン)	フィルムシミュレーション、MF*1
P	プログラムシフト、MF*1
S	シャッタースピード設定、MF*1
A	絞り設定、MF*1
M	絞り設定 / シャッタースピード設定*2、MF*1
Filter	アドバンストフィルター選択
Adv.	アドバンストモード選択
SP1/SP2	シーンポジション選択、MF*1

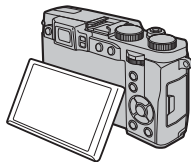
*1 フォーカスモード切り換えレバーが **M**（マニュアルフォーカス）の位置のときは、手動でピント合わせをする機能（MF）になります。
*2 コントロールリング設定ボタンを押すと、絞り設定 / シャッタースピード設定が切り換わります。

VIEW MODE ボタン

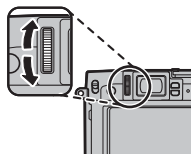
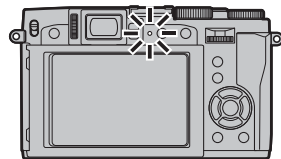
VIEW MODE ボタンを押すごとに、ファインダー（EVF）と液晶モニター（LCD）の表示が以下のように切り換わります。

設定	内容
SENSOR アイセンサー	ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、表示が自動的にファインダーに切り換わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
EVF ONLY	ファインダーにのみ表示します。
LCD ONLY	液晶モニターにのみ表示します。
EVF ONLY + SENSOR	ファインダーに目を近づけたときだけアイセンサーの働きにより、ファインダーに自動的に表示されます。

アイセンサーについて

目以外のものを近づけたり、直射日光が当たったりしても、アイセンサーが反応することがあります。

液晶モニター

液晶モニターをチルトすると、液晶モニターを見やすい角度に調整して撮影できます。液晶モニターをチルトしているときは、指などが挟まらないようにご注意ください。また、内側の配線などには触れないでください。故障の原因となります。

視度調節ダイヤル

ファインダーの表示が見えにくいときは、ファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを回し、ファインダーの表示がもっともはっきり見えるように調節してください。

インジケーターランプ

インジケーターランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。

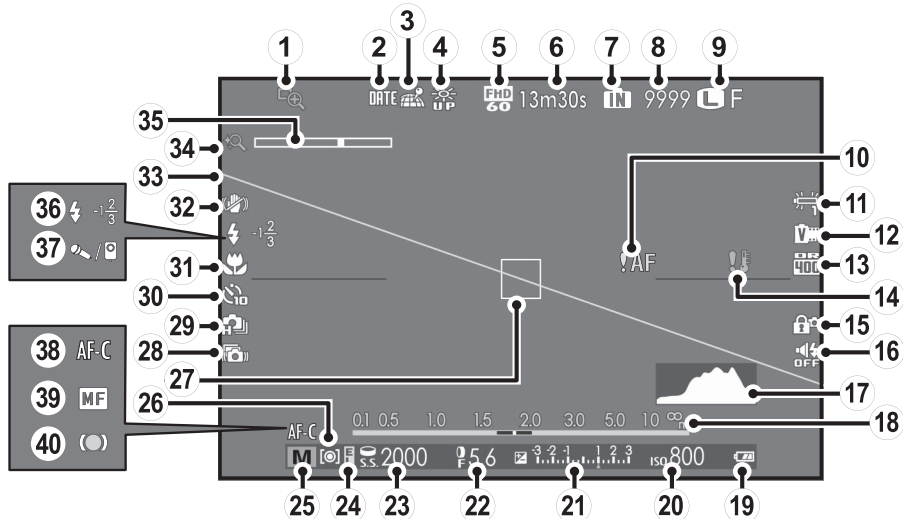
インジケーターランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	手ブレ警告、AF 警告、AE 警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています（続けて撮影できます）。
橙色点灯	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています（撮影できません）。
橙色点滅（早い）	フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。
橙色点滅（遅い）	ズームリングが ON と OFF の間にセットされています（撮影できません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

✎ 画面にも、警告表示が表示されます。

画面の表示

撮影時および再生時には、画面に次の情報が表示されます。

① 説明のため情報はすべて表示しています。

静止画撮影時（EVF/LCD）

＊ IN はメモリーカードがカメラに入っていないときに、撮影した画像がカメラの内蔵メモリーに記録されることを示します。

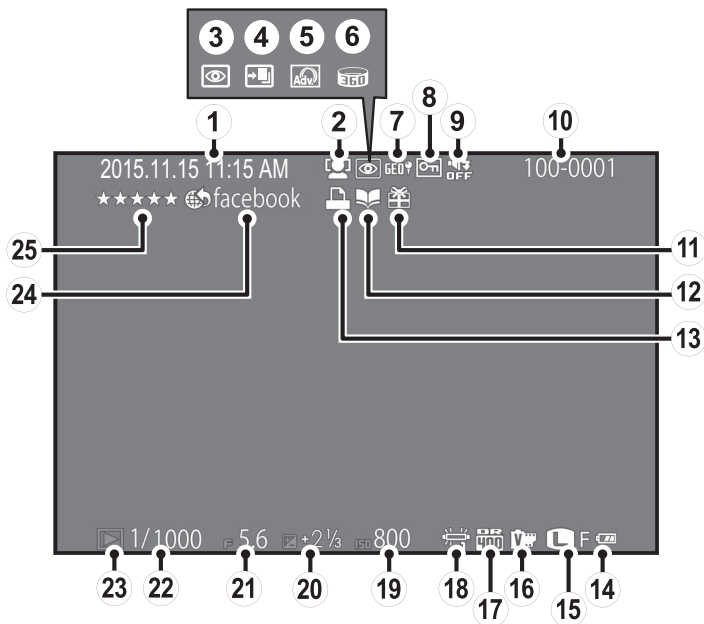
各部名称

① フォーカスチェック
② 日付書き込み
③ 位置情報取得状態
④ モニター晴天モード
⑤ 動画モード
⑥ 動画撮影の残り時間
⑦ 内蔵メモリー *
⑧ 撮影可能枚数
⑨ 画像サイズ・画質モード
⑩ AF 警告
⑪ ホワイトバランス
⑫ フィルムシミュレーション
⑬ ダイナミックレンジ
⑭ 温度警告
⑮ ボタンロック
⑯ マナーモード
⑰ ヒストグラム
⑱ 距離指標バー
⑲ バッテリー残量表示
⑳ ISO 感度
㉑ 露出インジケーター
㉒ 絞り値
㉓ シャッタースピード
㉔ AE ロック
㉕ 撮影モード
㉖ 測光モード
㉗ AF フレーム
㉘ インテリジェントブレ防止
㉙ 連写モード
㉚ セルフタイマー
㉛ マクロ（近距離）
㉜ ブレ防止
㉝ 電子水準器
㉞ 超解像ズーム
㉟ ズームバー
㊱ フラッシュ・フラッシュ調光補正
㊲ マイク / リモートレリーズ設定
㊳ AF モード
㊴ マニュアルフォーカス
㊵ 合焦マーク

画面の表示切り換え

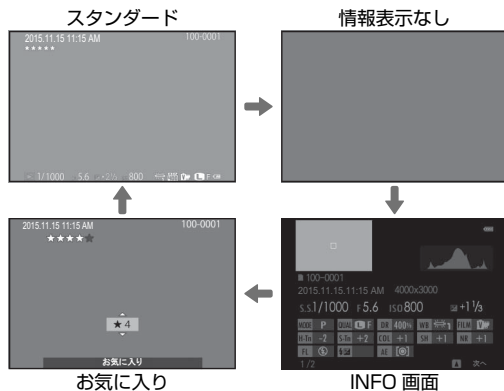
DISP/BACK ボタンを押すごとに、EVF/LCD の画面表示が切り換わります。

* INFO 画面は EVF には表示されません。

再生時

3 4 5 6
1
2
7
8
9
10
2015.11.15 11:15 AM
100-0001
facebook
11
12
13
25
24
1/1000
5.6
+2⅓
800
F
23 22 21 20 19 18 17 16 15 14

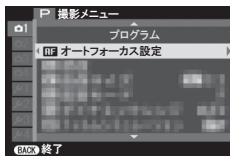
① 日付・時刻
② 顔キレイナビ
③ 赤目補正
④ ぼかしコントロール、連写重ね撮り
⑤ アドバンストフィルター
⑥ ぐるっとパノラマ 360
⑦ 位置情報
⑧ プロテクト
⑨ マナーモード
⑩ コマ NO.
⑪ プレゼント
⑫ フォトブックアシスト
⑬ プリント予約
⑭ バッテリー残量表示
⑮ 画像サイズ・画質モード
⑯ フィルムシミュレーション
⑰ ダイナミックレンジ
⑱ ホワイトバランス
⑲ ISO 感度
⑳ 露出補正
㉑ 絞り値
㉒ シャッタースピード
㉓ 再生モード
㉔ アップロード先設定
㉕ お気に入り

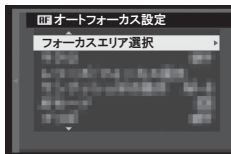
画面の表示切り換え

DISP/BACK ボタンを押すごとに、画面表示が切り換わります。

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

撮影時に使う機能を設定できます。

撮影メニューの使い方

1 **MENU/OK** ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。

2 ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。

3 ▶ で設定の変更に移ります。

4 ▲ または ▼ で設定を変更します。

5 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

6 **DISP/BACK** ボタンを押して、撮影画面に戻ります。

撮影メニュー一覧

メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

シーン選択
モードダイヤルが **SP1**/**SP2** のときに、好きなシーンポジションを選んで、モードダイヤルに割り当てることができます。

Adv. モード
モードダイヤルが **Adv.** のときに、高度なテクニックが必要な撮影が簡単にできるモードを選択できます。

アドバンストフィルター
モードダイヤルが **Filter** のときに、撮影時のフィルター効果を選択できます。

オートフォーカス設定
オートフォーカスに関する設定を変更できます。

感度
撮影感度を変更できます。

画像サイズ
記録する画像の大きさを変更できます。現在の設定で撮影可能な枚数が、画面のピクセルアイコンの左側に表示されます。

画質モード
用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

ダイナミックレンジ
撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。

フィルム シミュレーション
撮影する画像の発色や階調を変更できます。

フィルムシミュレーション BKT
フィルムシミュレーションブラケティングで撮影するフィルムシミュレーションの設定を変更できます。

セルフタイマー
セルフタイマーを設定できます。

インターバルタイマー撮影
設定した時間ごとに自動撮影するインターバルタイマー撮影を設定できます。

ホワイトバランス
ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定できます。

カラー
画像の色の濃さを変更できます。

シャープネス
画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。

ハイライトトーン
画像のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。

シャドウトーン
画像のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。

ノイズリダクション
高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。

超解像ズーム
画像を拡大し、デジタル超解像処理によってシャープで解像感のある画像を撮影できます。

インテリジェントブレ防止
モードダイヤルが SR+ のときに、インテリジェントブレ防止を使用できます。

カスタム選択
カスタム登録 / 編集で保存した設定を呼び出せます。

カスタム登録 / 編集
自分好みの撮影メニューの設定を組み合わせて保存できます。

顔キレイナビ
顔にピントと明るさを合わせて、人物を明るく目立つように撮影できます。

測光
カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。

測光 & フォーカスエリア連動
測光が **スポット**のときに、AF フレームの位置で測光するかどうかを設定できます。

MF アシスト
マニュアルフォーカス時のピント確認方法を設定します。

コントロールリング設定
コントロールリングに割り当てる機能を設定できます。

フラッシュ設定
フラッシュのモードや発光量を変更できます。

動画設定
動画撮影に関する設定を行います。

ワイヤレス通信
無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。

再生の設定を変える — 再生メニュー

画像の再生時に使う機能を設定できます。

再生メニューの使い方

1 ▶ ボタンを押します。
再生モードに切り換わります。

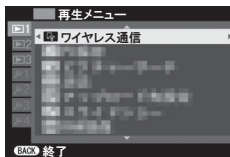
2 **MENU/OK** ボタンを押します。
再生メニューが表示されます。

3 ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。

4 ▶ で設定の変更に移ります。

5 ▲ または ▼ で設定を変更します。

6 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

7 **DISP/BACK** ボタンを押して、再生画面に戻ります。

再生メニュー一覧

ワイヤレス通信
無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。

PC 保存
無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。

ピクチャーサーチ
さまざまな条件で、画像を検索できます。

消去
画像消去できます。

アップロード先設定
画像や動画を選んで YouTube や Facebook、mixi へのアップロード先を設定できます。

スライドショー
撮影した画像を順番に自動再生します。

RAW 現像
撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルとして保存（現像）できます。

赤目補正
人物の赤目を補正できます。

プロテクト
誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。

トリミング
撮影した画像の必要な部分をトリミング（切り抜く）できます。

リサイズ
撮影した画像のサイズを小さくできます。

画像回転
画像を回転できます。

画像コピー
カメラの内蔵メモリーとカメラに装着したメモリーカード間で、画像をコピーできます。

フォトブックアシスト
画像を選んで、フォトブックを作成できます。

プリント予約（DPOF）
DPOF や PictBridge 対応のプリンターでプリントする画像を指定します。

instax プリンタープリント
別売の FUJIFILM instax SHARE で画像を印刷できます。

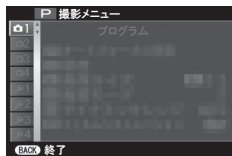
表示比率
3:2 で撮影された静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。

カメラの設定を変える — セットアップメニュー

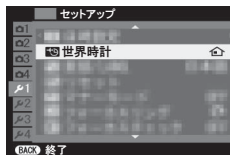
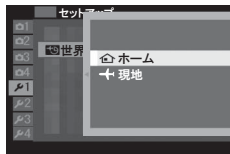
日時の設定、モニターの明るさなど、カメラの基本的な設定を変えられます。

セットアップメニューの使い方

1 **MENU/OK** ボタンを押します。
メニューが表示されます。

2 ◀ でタブ選択に移ります。

3 ▼ でセットアップタブに移ります。

4 ▶ でセットアップ画面を表示します。

5 ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。

6 ▶ で設定の変更に移ります。

7 ▲ または ▼ で設定を変更します。

8 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

9 **DISP/BACK** ボタンを押して、撮影画面または再生画面に戻ります。

セットアップメニュー一覧

日時設定
日付と時刻を設定します。

世界時計
旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

言語/LANG.
画面に表示する言語を設定します。

リセット
撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。

マナーモード
フラッシュや AF 補助光を発光禁止にし、操作音や動画の再生音がオフにします。セルフタイマーランプも発光しません。

コントロールリング
マニュアルフォーカス（MF）時のコントロールリングの回転方向を設定できます。

フォーカスチェック
マニュアルフォーカスでコントロールリングを回したとき、画面全体を拡大表示してピントを合わせやすくします。

音設定
音に関する設定を変更できます。

表示設定
画面表示に関する設定を変更できます。

ファンクション（Fn）設定
ファンクションボタンに割り当てる機能を設定できます。

セレクターボタン設定
セレクターボタンの機能を変更できます。

クイックメニュー登録 / 編集
クイックメニューに表示する機能を変更できます。

消費電力設定
消費電力に関する設定を変更できます。

ブレ防止モード
手ブレや被写体ブレを軽減します。

赤目補正
暗い場所でフラッシュ撮影したときに、「赤目現象」を軽減します。

AE/AF-LOCK 設定

AEL/AFL ボタンを押したときの動作を設定します。

AE/AF-LOCK 機能選択

AEL/AFL ボタンを押したときに、露出（AE）とピント（AF）のどちらを固定するかを設定します。

保存設定

画像の保存に関する設定を変更できます。

距離指標の単位

撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます。

ワイヤレス設定

無線 LAN 機能に関する設定を変更できます。

PC 保存先設定

PC 保存の保存先を設定します。

位置情報設定

スマートフォンから取得した位置情報の設定を変更できます。

instax プリンター接続設定

別売の FUJIFILM instax SHARE との接続を設定します。

ファイル名編集

ファイル名を変更できます。

フォーマット

カメラにメモリーカードが入っているときは、メモリーカードをフォーマット（初期化）します。メモリーカードが入っていないとき（IN が表示されているとき）は、内蔵メモリーをフォーマットします。

付録

富士フイルムでは、デジタルカメラに関するさまざまな情報をホームページで紹介しています。是非、アクセスしてみてください。

FUJIFILM X30 製品情報

製品情報サイトでは、サポート情報やアクセサリーなどがご覧になれます。

FUJIFILM 無料アプリケーション

富士フイルムが提供する無料のアプリケーションを使えば、スマートフォン / タブレット / パソコンで写真の楽しみ方が広がります。

http://fujifilm-dsc.com/

MyFinePix Studio（Windows のみ）を使うと画像の閲覧、管理、印刷などをパソコン上で行うことができます。

http://fujifilm-dsc.com/mfs/

富士フイルム マイファインピックススタジオ

RAW 画像をパソコン上で現像したいときは、RAW FILE CONVERTER を使用します

http://fujifilm-dsc.com/rfc/

富士フイルム RAW ファイルコンバーター

撮影の基礎知識

撮影シーンに合わせたレンズの選び方や焦点距離や露出値などのコントロール方法が記載されています。

デジタルカメラ撮影ガイド

色んなシーンの撮影方法が記載されています。

富士フイルム 撮影ガイド

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。	
⚠ 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。	
⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源プラグを抜く

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。
煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- お買上げ店にご相談ください。

水ぬれ禁止

内部に水や異物を落とさない。
水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。
そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
- お買上げ店にご相談ください。

風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しない。
火災・感電の原因になります。

分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。
火災・感電の原因になります。

接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。
感電したり、破損部でけがをする原因になります。
- 感電やけがに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。
コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。
- コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。

不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

移動中の使用はしない。
歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。
転倒、交通事故などの原因になります。

雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。
落雷すると誘電雷により感電の原因になります。

指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。
電池は極性（⊕⊖）表示どおりに入れてください。

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。
電池・バッテリーを落としたり、衝撃を加えない。
リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。
電池・バッテリーをショートさせない。
電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。
バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。
電池・バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

指定外の電池・バッテリーや AC パワーアダプターを使用しない。
表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。
火災の原因になります。

電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。

バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一のものだけを使用してください。

可燃性 / 爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。

電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはる。
他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児に触れさせないこと。
メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

混雑した場所（満員電車の中など）では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る。
本製品からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える可能性があります。

自動制御機器（自動ドアや火災報知機など）の近くでは電源を切る。
本製品からの電波が自動制御機器に影響を与える可能性があり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 22 cm以上離すこと。
本製品からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠ 注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。

小さいお子様の手の届くところに置かない。
けがの原因になることがあります。

本製品の上に重いものを置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。
電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
火災・感電の原因になることがあります。

本製品や AC パワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。
火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグを抜く

充電終了後は充電器をコンセントから抜く。
コンセントにつけたままにしておくと火災の原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光させない。
一時的に視力に影響することがあります。
特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。

メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。
飛び出したカードが当たり、けがの原因になることがあります。

定期的な内部点検・清掃を依頼する。
本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。
- 2 年に 1 度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。

フラッシュ発光部に指などを触れたまま発光しないこと。
やけどの危険があります。

フラッシュ発光部を汚したり、物でふさいだまま発光しないこと。
発煙や変色の原因になります。

電源についてのご注意

※ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

1 充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
※バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ～ 2 日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■充電について

- 充電は周囲の温度が 0℃～+ 40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
- ＋ 10℃～+ 35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は+ 10℃～+ 35℃の温度範囲で行ってください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■ バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約 300 回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■ 保存上のご注意

- 充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
  - 周囲の温度が＋ 15℃～＋ 25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
  - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

危険ですので、次のことにご注意ください

バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。

火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。

分解したり、改造したりしないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

2 単 3 形アルカリ乾電池、単 3 形ニッケル水素電池使用機種

■ 取扱い上のご注意

- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造をしないでください。
- 外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液漏れしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性（⊕と⊖）に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池（充電式電池の場合 : 充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます）。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 寒冷地（＋ 10℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。

万一、液漏れが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。

■ 単 3 形ニッケル水素電池を正しくお使いいただくための注意

- お買上げ時や長い間使用しなかったニッケル水素電池は「不活性」状態になっている可能性があります。また、まだ十分に使用できる状態で充電を繰り返すと「メモリー効果」が生じる可能性があります。
  「不活性」状態や「メモリー効果」が発生したニッケル水素電池では、充電後の使用可能時間が短くなる症状が出てきます。この症状を防ぐにはカメラに内蔵している充電池放電機能をお試しください。
  「不活性」や「メモリー効果」はニッケル水素電池固有のもので、故障ではありません。

注意　アルカリ乾電池使用時は「充電池放電」機能を使用しないでください。

- ニッケル水素電池用充電器は、ニッケル水素電池 HR-AA 専用です。乾電池や他の充電式電池を充電すると、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- ニッケル水素電池の充電は、専用の充電器を使用し、充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- 充電器では、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ニッケル水素電池は使わなくても自然放電しており、使用可能時間が短くなることがあります。
- ニッケル水素電池は、放電し過ぎると急速に劣化します。（懐中電灯などでの放電）。放電はカメラの「充電池放電」機能をご使用ください。
- ニッケル水素電池にも寿命があります。放電と充電を繰り返しても使用可能時間が短い場合は、寿命の可能性があります。

■ 電池の廃棄について

- 電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

3 両機種（1、2）共通のご注意

■小形充電式電池のリサイクルについて

小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページをご参照ください。*http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html*

■AC パワーアダプター使用機種

必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。
弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。
AC パワーアダプターに関しての詳細は、取扱説明書をご参照ください。

- 室内専用です。
- DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

カメラをお使いになる前のご注意

■撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■商標について

- デジタルスプリットイメージ、Digital Split Image は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。
- 、xD-Picture Card ™、xD- ピクチャーカード™は富士フイルム（株）の商標です。
- DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTime は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows 8、Windows 7、Windows Vista および Windows ロゴは、マイクロソフトグループの商標です。
- Wi-Fi® および、Wi-Fi Protected Setup® は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- SDHC ロゴ、SDXC ロゴは SD-3C,LLC の商標です。
- HDMI ロゴは商標です。
- mixi は株式会社ミクシィの登録商標です。
- YouTube は Google Inc. の登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

- カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けないでください。撮像素子が破損する場合があります。
- 太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにご注意ください。

■避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意

水や砂は本製品の大敵です。このカメラは、水中で使用できる構造になっていません。ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などが本製品の内部に入らないようにご注意ください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。バッテリー挿入部、メモリーカードスロット、端子類のカバー（蓋）は、使用前に確実に閉まっていることをご確認ください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカード／内蔵メモリーについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■メモリーカード取扱上のご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■内蔵メモリーについて

- 内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。
- 修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■メモリーカード、または内蔵メモリーをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのメモリーカード、または内蔵メモリーを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パソコンでメモリーカード、または内蔵メモリーのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカード、または内蔵メモリーがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

重要! 本製品に搭載されている無線 LAN をご使用になる前に必ずお読みください。

! 本製品は、米国輸出規則（EAR）の対象となり、米国禁輸出国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ 本製品は無線 LAN 機器としてお使いください。

無線 LAN 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 無線 LAN 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています

本製品の無線 LAN 機能はお買い求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を順守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

電波によるデータ（画像）の送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

本電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください（環境により電波が届かないことがあります）。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ 使用周波数帯

本製品の、使用周波数は 2.4GHz 帯です。変調方式として DSSS、OFDM 変調方式を採用しています。

無線 LAN 機器使用上の注意事項

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- 産業 · 科学 · 医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
  - (1) 構内無線局（免許を要する無線局）
  - (2) 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。

本製品が 2.4GH z周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 40 mであることを意味しています。

FUJIFILM

富士フイルム株式会社

●本製品に関するお問い合わせは…

※あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター TEL 050-3786-1060 ご利用いただけない場合は 0228-30-2992

月曜日～金曜日 9：00 ～ 17：40／
土曜日、日曜日、祝日 10：00 ～ 17：00（年末年始を除く）

FAX 050-3786-2060 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

●本製品の関連情報は…

※弊社ホームページ http://fujifilm.jp/ の自己解決に役立つ「Q＆A検索」もご利用ください。

■ 修理サービスQ&A
修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。
http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/index.html

■ 修理納期検索サービス
東京もしくは大阪のサービスステーションおよび富士フイルム修理サービスセンターへ修理依頼品を送付、あるいは持ち込みされた場合、修理完了予定日を検索することができます。
http://repairlt.fujifilm.co.jp/repair/certificate.jsp

■ 修理料金のご案内
当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を確認できます。
http://repairlt.fujifilm.co.jp/estimate/index.php

●修理の受付は…

※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■ 修理のご相談受付窓口

富士フイルム修理サービスセンター TEL 050-3786-1040 月曜日～金曜日（日・祝日・年末年始を除く）
9：00 ～ 17：40／土曜日 10：00 ～ 17：00

FAX 050-3786-2040 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

■ 修理品ご送付受付窓口

富士フイルム修理サービスセンター 〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1/TEL：050-3786-1040

▶お急ぎの場合は、全国どこからでも **【FinePixクイックリペアサービス】** お預かりからお届け迄が最短3日の宅配修理サービス
http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php / TEL：050-3786-1020

▶お近くのサービスステーション **【サービスステーション一覧】**
http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/servicestation/index.html

サービスステーションにつきましては、弊社ホームページ http://fujifilm.jp/ または上記の＜修理ご相談受付窓口＞にてご確認・お問い合わせください。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日 9：00 ～ 17：40 / 土曜日 10：00 ～ 17：00 ※日・祝日・年末年始を除く）TEL 050-3786-1711

※各窓口の営業時間は予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。